

テーマ:子育て・教育

取組事業名	担当	取組内容	課題	H26事業費	H26実績
のびのび興譲館	生涯学習課 生涯学習担当	小学4年生から中学3年生を対象に自然塾、クッキング塾、フィッシング塾などを開催し、地域のリーダーとして将来を担う青少年を育成していくことを目指している。(負担金 年間1,000円+実費)	募集定員に対して参加人数が少ない塾があることから、定員や塾の内容等検討することが必要である。	1,414千円	各塾の開催 98回 定員に対する参加率 79%
放課後子ども教室	生涯学習課 生涯学習担当	市内5小学校区ごとに放課後や週末の子どものための安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の協力を得て、様々な体験活動を行うもの。放課後児童クラブとは違い、全児童が対象となる。(年間保険料400円+材料費等)	指導員が高齢化していること、新たな指導員の確保が困難である。平成27年3月から「放課後子ども総合プラン」に基づき、「放課後児童クラブ(学童保育)」と「放課後子ども教室」が連携して取り組むこととなっており、体制を整えていくことが課題である。	4,102千円	登録者数 408人 教室開催回数 210回
英語特区事業	学校教育課 学校教育担当	都留文科大学附属小学校において、都留文科大学との連携のもと、小学校1年生から6年生まで一貫性のある特別な英語教育を提供し、英語を使って積極的にコミュニケーションが図れる人材を育成する。市内在住者は、学区内の学校に通学する原則があるが、特区での英語教育を望む場合は学区外からでも通学できるよう規則を改定した。また市外在住者についても、区域外就学を積極的に認めていく。	現職教員の英語指導能力の向上。 特区の優位性を具体的に証明する結果づくりと、その公表方法の検討。	4,826千円(H27予算)	(参考) H26入学者 4人 H27入学者 12人
学生アシスタントティーチャー制度	学校教育課 学校教育担当	都留文科大学の教員志望の学生を「学生アシスタント・ティーチャー(SAT)」として市内小中学校に配置し、児童へのきめ細やかな指導の充実、大学における教師教育の発展を図るとともに、小中学校と大学との協力・連携を進めている。	受入れ校と都留文科大学学生との打合せ時間の確保。 受入れ校の意向と大学の意向とのミスマッチング(実習生数・実習時間・実習回数など)の解消。	2,038千円	SAT参加延べ学生数 475人(前期+後期) 活動回数 延べ 3,998人
都留市すこやか子育て医療費助成制度	健康子育て課 子育て支援担当	中学3年生までは、山梨県内の病院、院外処方調剤薬局、診療所、歯科医院等の保険医療機関で診療を受ける際に、被保険者証(保険証)とすこやか子育て医療費助成金受給資格者証(受給資格者証)を提示すると、保険診療にかかる自己負担分が無料になる。県外での診療などの場合には一旦負担してもらい、後日、市に請求してもらうことになる。		104,740千円	助成件数 48,276件
ママさんクラス・両親学級	健康子育て課 健康推進室	年4コース 7日間(うち1日は両親教室で日曜日に実施)の教室を開催。専門スタッフ(保健師、助産師、栄養士、親業インストラクター)による講義及び実習や体験を通じた内容を実施 1日目 ママさん同士友達になろう 妊娠中の体を理解しよう 2日目 上手に赤ちゃんを産むために(呼吸法 妊婦体操) 3日目 赤ちゃんの栄養についてしよう 4日目 マタニティライフについて(妊娠中の栄養 歯の健康) 5日目 育児の方法を学ぼう ~先輩ママと交流しよう~ 両親学級 パパに出来る子育て(パパの役割を考えよう おふろの入れ方) 6日目 親になるってどういうこと 交流会	参加者からの評価としては好評であり、ママ同士の交流が続くきっかけになっているが妊婦全体から考えると就業している妊婦も多いため参加率はあまり増えていない。	92千円	ママさんクラス延べ受講者数 255人 パパさんクラス受講者数 80人
ファミリー・サポート・センター事業	健康子育て課 保育家庭担当	H25年3月に開始したファミリー・サポート・センター事業は、社会福祉協議会に業務委託し、「子育ての手助けをしてほしい人(依頼会員)」と「子育てのお手伝いをしたい人(提供会員)」が事業に登録し、互いに助け合いながら育児の援助活動を会員間で行っている。また、拠点(事務局)を改修したまちづくり交流センターに置いているため、会員同士の交流の場としても利用され、相互の援助活動をよりしやすい環境にしている。H26年度から、依頼会員が提供会員に支払う利用料1時間700円のうち200円を市が助成し、500円で利用できるようにしている。	平成25年度にまちづくり交流センターの交流室の改修を行い、施設面は十分対応できるよう整備されているが、提供会員が依頼会員より少ないので、事業の周知を図り、会員登録を増やして色々なニーズに対応できるようにしていく。	委託料 4,872千円 補助金 81千円	援助活動回数 58件
地域子育て支援センター事業	健康子育て課 保育家庭担当	子育て支援センターは、市内4か所の幼稚園・保育園で、①育児不安等についての相談 ②子育てサークル等の育成・支援 ③子育て親子の交流の場の提供・交流促進 ④地域の保育資源の情報提供等 ⑤家庭的保育を行うものへの支援等を中心に行っており、また、ボランティアの日常的な受入・養成も行ない、地域の異年齢等と世代間の交流も継続的に実施している。	現在出生数減少に伴い、年々児童の利用が減少しているが、子育て世帯への周知を図り利用者の増加に努めていく。	27,240千円	年間延べ利用者数 9,545人
都留市病児・病後児保育事業	健康子育て課 保育家庭担当	生後4ヵ月から小学校3年生までの児童が病気回復期であり、安静を要するために集団保育の困難な期間において保護者が仕事・傷病・冠婚葬祭などにより保育が出来ない場合、市が委託する医療機関(1ヶ所)に預けることができる。(登録料 年間540円)	保護者のニーズ量は依然と高い事業であり、今後も周知活動として、気軽に利用できることをアピールしていく。	6,650千円	年間延べ利用者数 362人
放課後児童クラブ(学童保育)	健康子育て課 保育家庭担当	保護者が就労等により、昼間家庭にいない小学生を対象に、適切な遊びや生活の場を与え、集団生活の中で豊かな心身を養い、児童を健やかに育成することを目的として、市内全小学校区8学区に合計11クラブが公設民営で設置されており、それぞれの保護者会等が保護者の保育料と市の補助金で運営している。各クラブの施設整備等は、市への要望書をもとに、対応可能なものから順次、改善している。 (平成26年度)禾生第一小地区:禾生地域コミュニティセンターの浴室棟を2教室に改修する工事を実施。宝小地区:クラブ室の内装及び流し台の修繕 東桂小地区:クラブ室内のクロス張り替え修繕 盛里地区:コミュニティセンターと私有地の境にネットフェンスの取付。	各クラブの施設の整備等を順次実施していくとともに、運営や経理が円滑に行われるように、事務書類の統一や助成金の増額、また、「放課後こども教室」との連携一体化による実施等を検討していく。(放課後子ども教室:小学校区ごとに放課後や週末の子どものための安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々のご協力を得て、様々な体験活動を行うもの)	58,752千円	延べ利用者数 52,562人